

夕張市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート

＜集計概要報告書（中学生のいる世帯）＞

調査概要

- (1) 調査地域
夕張市全域
- (2) 調査対象
平成25年10月1日時点での夕張市住民基本台帳に登録されている中学生が属する世帯
- (3) 標本数
中学生 141
- (4) 標本抽出
住民基本台帳から対象者がいる世帯を抽出
- (5) 調査方法
学校を通じての配布及び回収
- (6) 調査期間
平成26年2月26日（水）～3月7日（金）

回収結果

	標本数	有効回収数（回収率）
中学生が属する世帯	141	61（43.3%）

■中学生調査結果

□お子さんとご家族の状況について

- ・ 回答者の約 86%が母親。また、回答者の 77%は配偶者がいる。
- ・ 子育てを主にしているのは、「父母両方」が 70%、「おもに母親」が 23%。
- ・ 世帯での携帯電話の保有台数は、「3 台」が 47%、「4 台」が 18%、「2 台」が 16%。
- ・ 約 7 割の子どもが携帯電話を保有しており、その内 69%は保護者によるフィルタリング（有害サイトアクセス制限サービス）を設定している。一方、3 割の保護者は設定していない・わからないと回答している。

□保護者の就労について

- ・ 父親は 57%がフルタイム、19%が自営業。また、母親は 34%がフルタイム、27%がパート・アルバイト 16%が自営業に就労している。
- ・ 約 8 割は気軽に相談できる人がいる、相談できる場所があると回答しているが、14%の人はいずれもないと回答している。
- ・ 約 8 割の人は気軽に相談できる相手先として「祖父母等の親族」と回答し、「友人や知人」が 74%、「学校の先生」が 19%、「近所の人」が 15%となっている。

□放課後の過ごし方について

- ・ 部活動をしているが 50%、家で家族（祖父母等）、家でひとり（兄弟のみ）で過ごす共に 31%、友人と遊んでいるが 21%となっている。
- ・ 設置を望む放課後安心して過ごせる施設については、「学習スペース」が 60%、「図書コーナー」が 34% 「パソコン・コーナー」が 26%であった。
- ・ 登下校時利用のバスの形態については、「今のままで良い」が 26%、「登下校にちょうどよい時間帯のバスを走らせる」が 19%、「スクールバスで送迎」が 14%であった。また、バスの乗り換えについては 37%が「今のままで良い」であり、「乗り換えは反対」が 6%となっている。反対理由としては、子どもに負担がかかる等があげられている。なお、「バスを利用していない人」は 34%である。

□ご家庭での子育てと子育ての環境について

- ・ 父親の子育てへの参加は、「よくしている」が45%、「ときどきしている」が31%。
- ・ 家事の分担においては77%が「男女がたがいに協力し分担して行うべき」と考えている。
- ・ 家庭での学習時間について、44%は「1時間未満」、「ほとんどやっていない」が27%、「1～2時間」が24%となっている。
- ・ 子育てについての悩みについては、「子どもの勉強や進学」が65%、「経済的な不安・負担」が36%、「子どもとの時間を十分にもてない」14%、「子どもの知的・精神的発育」が11%であった。一方、「特にない」が18%となっている。
- ・ 居住地区の子育て環境としては、「まあまあ子育てしやすいと思う」と感じているのが42%であり、「子育てしやすいとは思わない・あまり思わない」が21%となっている。

□お子さんの進学について

- ・ 卒業後の進路についての現状としては、「市内の高校に進学（してほしい）」が57%、「市外の高校に進学（してほしい）」が32%となっており、「市内・市外で就職（してほしい）」は0%であった。
- ・ 高校を選択するにあたり重要視することは、「通学がしやすい」が57%、「友人や先輩が多い」が23%、「大学等進学に有利」、「専門的な知識が身につく」が共に16%であった。「その他」として、進路指導が活発に行われていることや子どもの意志があげられている。
- ・ 夕張市の子育て支援に期待することは、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が65%、「子どもが安心して集まれる身近な場所、イベントの機会がほしい」が39%、「安全な公園を整備してほしい」が32%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が29%となっている。